

2012年3月28日
公益財団法人ヤマト福祉財団

〔岩手県 製氷・貯氷施設回復支援事業〕
久慈市で製氷・貯氷施設災害復興新築工事の
安全祈願祭・起工式が行われました

2012年3月24日、製氷・貯氷施設災害復興新築工事の安全祈願祭・起工式が行われました。「市場に水揚げされる水産物の一括処理、鮮度維持は、氷を供給する施設がなければ不可能です。今後この施設は当地域の漁業を支える重要な役割を担うこととなります」と、久慈市漁業協同組合代表理事組合長 梶（さい）健一郎氏があいさつ。これは公益財団法人ヤマト福祉財団(本部：東京都中央区、理事長：有富慶二、以下：ヤマト福祉財団)「東日本大震災 生活・産業基盤復興再生募金」の第3次助成先の一つ『製氷・貯氷施設回復支援事業(岩手県)』で、2億3333万円を上限とする助成をするものです。(総事業費10億5000万円のうち、岩手県、久慈市負担分の2/9相当額を助成する)

久慈市漁業協同組合参事 嵯峨松男氏は「新施設が完成すれば製氷能力は従来の2.5倍に、貯氷能力も大幅にアップし、地元の漁船が水揚げする水産物への鮮度管理はもちろん、外来船の誘致への弾みも付くと思います」と、久慈市の水産業・市場の完全なる復興にかける関係者みなさんの意気込みを代弁されました。



**製氷能力が従来
の2.5倍へ**

待望の新しい製氷・貯氷施設の完成は今年9月末の予定です。従来施設の製氷能力は1日20トンでしたが、約2.5倍の1日50トンへ。貯氷施設の能力も大幅にアップします。



「一刻も早く製氷・貯氷施設を再建し、市場に活気を取り戻したい」そんな願いを込めて安全祈願祭・起工式が行われました



震災と津波で壊滅的な被害を受けた以前の製氷・貯氷施設